

# 第9回教育委員会

平成31年4月23日  
午後3時30分  
本庁舎屋上会議室

案 件

報告第14号 大阪市立図書館デジタルアーカイブオープンデータの利活用推進に伴う総務省ICT地域活性化大賞優秀賞等の受賞について

## 大阪市立図書館デジタルアーカイブオープンデータの利活用推進に伴う総務省ICT地域活性化大賞優秀賞等の受賞について

### 総務省 ICT 地域活性化大賞 優秀賞受賞

地域が抱える様々な課題への対応として、IoT、センサー、クラウド、ビッグデータ、AI 等の情報通信技術と地域のノウハウを結び付け、その課題を解決し、地域を元気にするような事業モデルを公募。今年度は、115 件の応募があり、その中から決勝大会に進出した 11 団体によるプレゼンテーションを行い、会場投票・審査を行い、総務大臣賞などを決定するもの。

大阪市立図書館は、取り組み名「オープンデータ化した地域資料の利活用を通じて大阪の魅力を発信」として応募し、3月8日(金曜日)に東京ビッグサイトレセプションホールで開催された「地域ICTサミット2019」内での決勝大会でプレゼンテーションを行い、優秀賞を受賞した。公共図書館としては初めての受賞となる。

受賞理由及び審査員コメント：

- ・20年以上も前からデジタル化を実施して、その上13万枚もの画像をオープンデータ化したということで、図書館の蔵書を集めるだけではなくこのように見える化していくことで、ビジネスチャンス、地域活性化のチャンス、海外との連携のチャンスにつながる取り組みである。
- ・図書館は守りの姿勢が多いが、今までにない取り組みを進めている。賞を受けることが全国の図書館のモデルとなりうる。

### 2018年度勝手表彰貢献賞 受賞

一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構(VLED)は、公共機関が保有するデータのオープンデータ公開を推進し、国・地方公共団体が公開したデータと組み合わせてビッグデータとして利活用することによって新たなビジネスを創出し、地方創生を推進するとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックも見据えた経済の活性化を行うための組織として、オープンデータ流通推進コンソーシアムの成果を引き継いで設立された。

オープンデータに関する優れた取り組みを、VLED 利活用・普及委員会の主査・副主査・委員が審査を行い、勝手に表彰する「勝手表彰」は2013年度に開始。オープンデータ、データ公開・活用に関する取り組み、またデータを用いた地方創生への取り組みなどを対象としている。

大阪市立図書館は、「古文書等オープンデータ画像のビジネス等への利活用促進」の取組について評価され、勝手表彰貢献賞を受賞し、3月6日(水曜日)に授賞式があった。こちらも公共図書館としては初めての受賞となる。

受賞理由：

- ・早くからオープンデータ化を進め、活用プロモーションにも取り組んでおり、図書館が地域オープンデータを含めた情報基盤となっている。
- ・地域の文化資源のオープンデータ化により、商品パッケージなど二次利用が進んでいる。

### <オープンデータとは>

- ・ オープンデータとは、官民が保有する各種情報を、著作権などの制約がなく無償で商用利用及び2次利用を可能とし、かつデジタルデータ形式で提供する取り組みであり、ビジネスや身近な公共サービスへの活用が期待されている。

### <大阪市立図書館デジタルアーカイブとは>

- ・ 近世の大阪に関する古文書、明治期から戦前にかけての絵はがきや写真等の画像をホームページ上で公開し、館内館外を問わず、パソコン・タブレット等のモバイル端末からでも資料を閲覧しダウンロード等の活用も可能である。(現在 公開コンテンツ約 29,000 点)

### <大阪市立図書館デジタルアーカイブのオープンデータ化の経過>

- ・ 平成6年より大阪市立図書館の情報化施策は「大阪市情報化計画」の早期着手事業としてスタートし、その後の「大阪市情報化基本指針」等においても古文書の画像情報の提供拡大等図書館機能の充実については市の重要施策として位置づけ取り組んできた。
- ・ 平成29年3月には、「大阪市オープンデータの取組に関する指針」並びに「大阪市 ICT 戦略」に謳われている「積極的なデータ活用の推進（オープンデータ・ビッグデータ）」に則り、地域経済に資することを目的に、デジタルアーカイブで提供しているコンテンツの中から、著作権が消滅した地域資料約6,900点（画像13万枚）を、加工も商用利用も許容するCC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスにおけるオープンデータとして提供開始した。
- ・ 同年6月、『大阪市 ICT 戦略』に沿った図書館のあり方、その後「同アクションプラン」を策定し、継続した公開とデータ豊富化を進めることとした。
- ・ 同年11月、この公共図書館としては初の取組が評価され、Library of the Year 2017 優秀賞を受賞した。

### <オープンデータ化のメリット>

- ・ デジタル画像の二次利用申請・許諾の手続きは利用者・職員双方にとって煩瑣で調整にも時間を要したが、オープンデータ化することによりこれら行政事務が半減し大幅な効率化となる。

### <オープンデータの利活用>

- ・ 名刺やイベント広報、記念品（絵葉書・うちわ）での活用、バスのラッピングデザイン、レトルト食品のパッケージやテレビ番組での利用、ハッカソンイベントでの画像提供等さまざまな利活用事例がある。
- ・ また、図書館でのウィキペディアタウン等の関連イベント、展示・講座の開催など、さらなるオープンデータ利活用のため、SNS等も活用しつつ啓発広報を進めている。

地域資料のオープンデータを使って、新たな地域情報・ビジネスを創出!  
(#大阪オープンデータ)

【課題と現状】

- ▶ 図書館の取組を「大阪市ICT戦略」に位置付けが必要
- ▶ 劣化の激しい古文書資料の保存と情報活用のために公開している大阪市立図書館デジタルアーカイブの二次利用の申請が煩雑、事務が膨大

▶ 「『大阪市ICT戦略』に沿った図書館の今後のあり方」

「同アクションプラン」を策定

▶ 地域経済に資することを目的にデジタルアーカイブのコンテンツの中から著作権が消滅した地域資料をオープンデータとして提供、更なる利活用に向けて広報拡大

『大阪市ICT戦略』策定  
ICTの徹底活用 5つの柱

- (1) 情報活用 (Web、Eメール等)
- (2) 運用ノウハウの活用 (Web、Eメール等)
- (3) 最新技術・サービスの活用 (クラウド、ビッグデータ)
- (4) 効果的な人材育成
- (5) 効果的な経費削減

ICTの適正利用 2つの柱

- (1) ICT 導入の判断
- (2) ICT 効果の検証・評価の向上

画像のオープンデータ化

図書館の取組を位置付け

『大阪市ICT戦略』に沿った図書館の今後のあり方「同アクションプラン」を策定・公開

積極的なデータ活用の推進  
効果的・効率的な行政運営

「ICTの徹底活用」5つの柱 (2) と (5)

図書館で関連イベント  
展示など積極的に実施し、  
オープンデータ活用を認知

オープンデータを活用した事例

- 食品のイメージに...
- 大阪のイメージに...

誰でも自由に  
利用可能

オープンデータとして提供  
加工・改変も自由  
商用利用も可能

デジタルアーカイブの認知度・利活用の増加、行政事務の効率化

アクセス数の推移

大阪市立図書館デジタルアーカイブ		
トップページアクセス数 (件)	平成28年度	平成29年度
平成27年度	27,593	43,495
平成28年度	43,495	77,948
大阪市立図書館ホームページ		
トップページアクセス数 (件)	平成28年度	平成29年度
平成27年度	7,143,904	7,776,748
平成28年度	7,776,748	8,661,952

デジタルアーカイブは  
約2.8倍!!  
平成27年度比

二次利用申請数

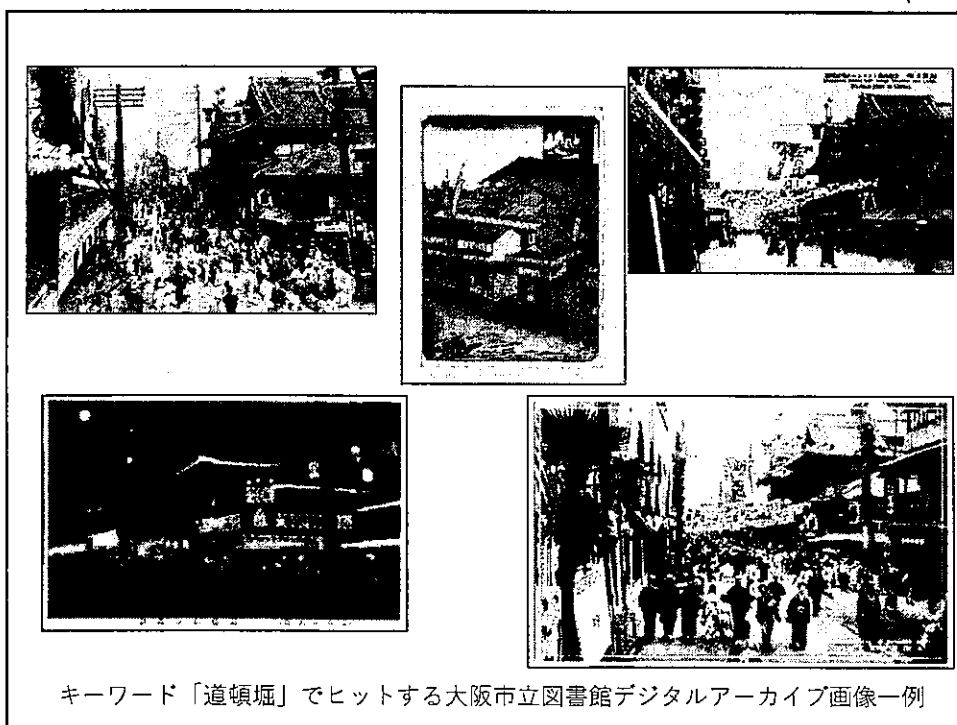
二次利用申請 (件)		
平成27年度	平成28年度	平成29年度
129	118	49

62%減!!  
平成27年度比

オープンデータを使って

- ・新たなビジネスの創出
- ・新しい地域情報・資源の作成

市民のシビックプライドを高める  
「大阪への愛着」

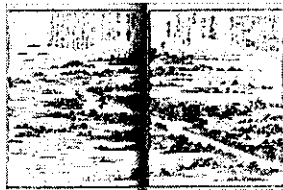


# 大阪市立図書館デジタルアーカイブ

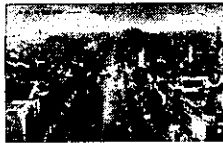
貴重書庫資料の保存、情報活用を目的に

1996年から公開

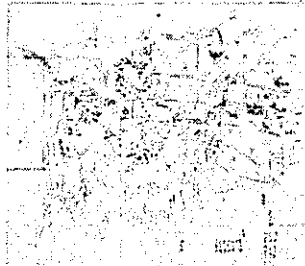
2014年のシステムリニューアルでアクセス数が増加



【摂津名所図会】(大阪関係などの古文書)



【大阪 御堂筋全景】(絵はがき)



【難波往古図(大阪古地図集成 第1図)】(地図)

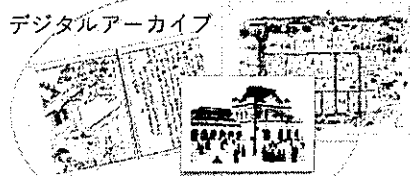


【文楽座人形浄瑠璃十一月興行】(芝居番付)



【兵船商】(引札)

## オープンデータは 二次利用申請の手続きが不要に！



「大阪市オープンデータの取組に関する指針」  
「大阪市ICT戦略」

オープンデータ画像約7200点(13万枚)は申請不要。加工も商用利用もOK！(赤枠部分が不要に)

二次利用の内容確認  
(商用利用や加工に当たらないか)  
著作権が切れているか

デジタルアーカイブ  
利用者

×○

申請の可否  
回答

画像の調査  
二次利用申請  
受付

相談窓口担当  
(図書館)

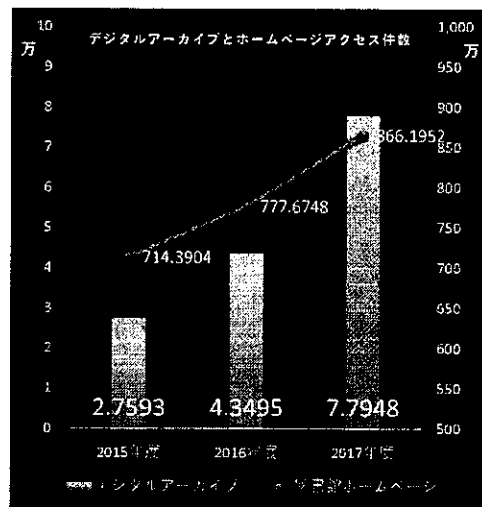
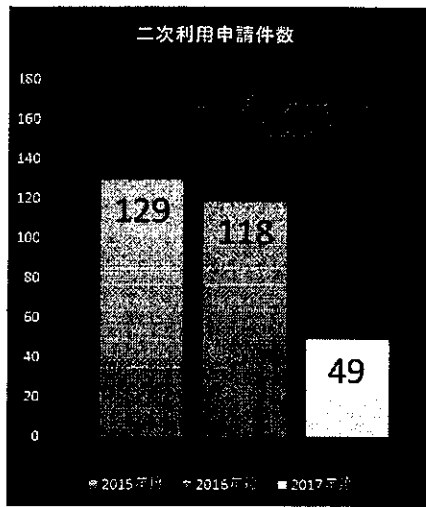
確認のため  
のやり取り  
が発生する

二次利用申請担当  
(図書館)

## 二次利用申請件数とアクセス件数の推移

2015年度の**62%減**

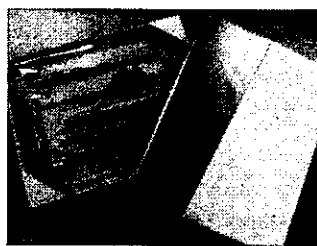
デジタルアーカイブのアクセス件数は**2.8倍**



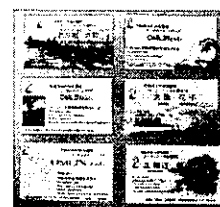
新聞五大紙・雑誌等で紹介され、  
活用事例も！



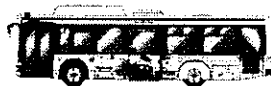
レトルトカレーパッケージ



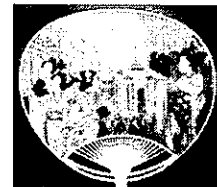
区役所の海外からの視察団へのお土産



名刺に活用



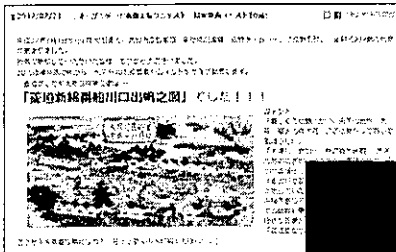
ラッピングバス



うちわ (イベント参加者に)

## 継続した周知・広報

- オープンデータ関連の展示、画像の人気投票
- 画像加工講座の実施、画像加工コンテスト
- ツイッター「今日の一枚」



画像人気コンテスト1位画像



加工した画像のコンテスト



画像活用講座

## 「OML48チームHIKIFUDA(ひきふだ)選抜総選挙」



1位に選ばれたのは『ちゃりんこ兄弟』

とごまで裸足で駆け抜ける、仲良し兄弟。丸い体は、脂肪じゃなくて、筋肉なんです。自転車ゲームの昨今、明治から走り続けてきた、ちゃりんこ兄弟が注目を浴びる日も近いのか。「やっとな代が俺たちに遅いついてきたな」

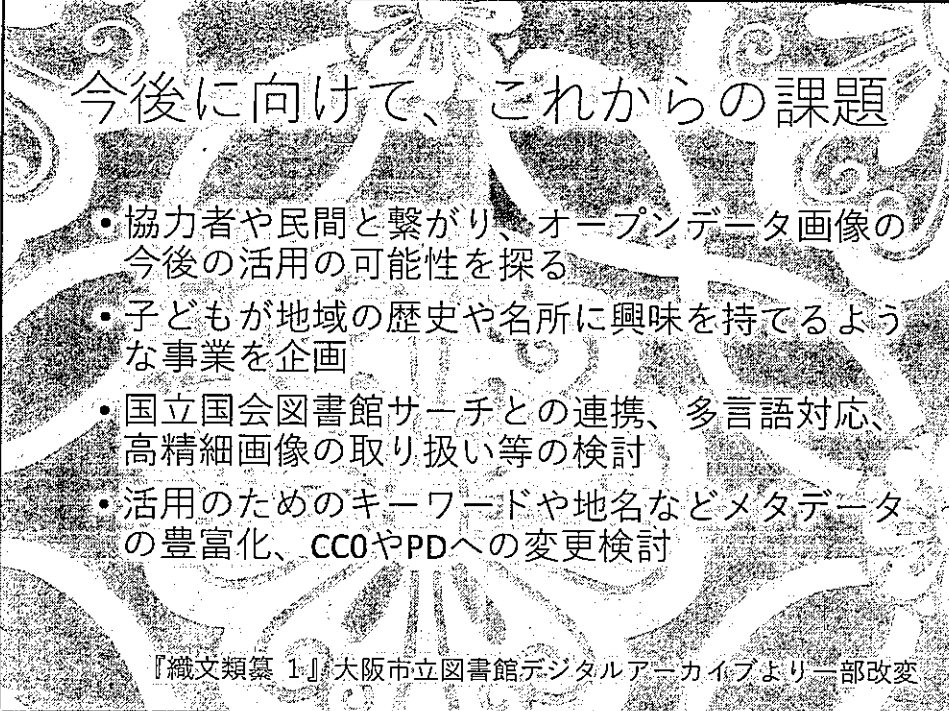




「浪花百景」をウィキメディアコモンズにアップロードして、関連する記事の作成をホームページ等で呼びかけするイベントを開催

記事作成以外の効果も。データが充実される

当館のほかにボストン美術館のFineArtsとの存在をデータに登録してくださった  
→海外の方にも大阪にあることがわかる



## 今後に向けて、これからの課題

- 協力者や民間と繋がり、オープンデータ画像の今後の活用の可能性を探る
- 子どもが地域の歴史や名所に興味を持てるような事業を企画
- 国立国会図書館サーチとの連携、多言語対応、高精細画像の取り扱い等の検討
- 活用のためのキーワードや地名などメタデータの豊富化、CC0やPDへの変更検討

『織文類纂 1』大阪市立図書館デジタルアーカイブより一部改変

## ご清聴ありがとうございました！

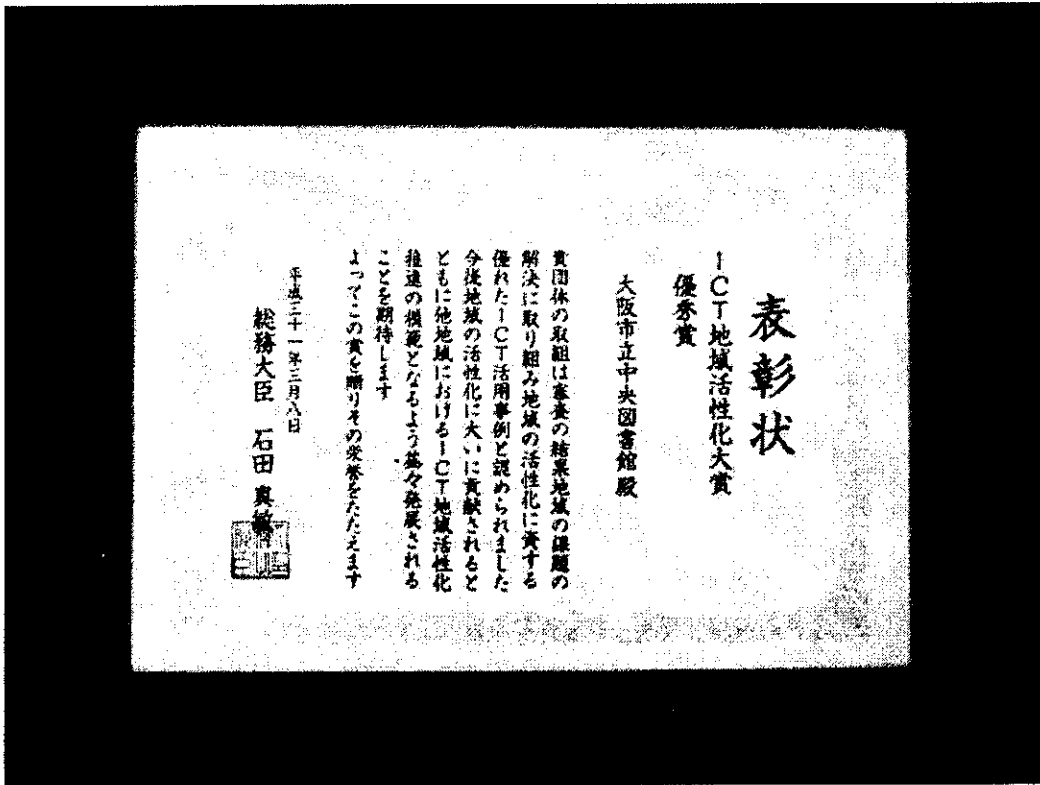
一層の周知のため継続した広報活動を全館体制で実施していきます。

大阪市立図書館デジタルアーカイブぜひご利用ください！



『菱垣新綿番船川口出帆之図』大阪市立図書館デジタルアーカイブより

ICT 地域活性化大賞 2019 優秀賞の表彰状



2018 年度勝手表彰貢献賞の表彰状

